帯広畜産大学で使用する電気

仕　様　書

国立大学法人北海道国立大学機構

帯広畜産大学

I. 概要

1．調達件名
帯広畜産大学で使用する電気　一式

2．発注者
国立大学法人北海道国立大学機構

3．供給場所

帯広畜産大学　帯広市稲田町西２線 11 番地

4．業種及び用途
大学（教育・研究）

5．供給予定期間
令和７年４月１日０時 00 分から令和８年３月 31 日 24 時 00 分まで（１年間）

II. 本学の受電設備等

1．供給電気方式、供給電圧、周波数、受電方式等

供給電気方式	交流三相三線式
標準周波	50Hz
受電電圧（標準電圧）	6,000V
計量電圧（標準電圧）	6,000V
受電方式	１回線受電

2．契約電力、予定年間使用電力量

契約電力　1,296 kW　（詳細は、資料 2-3 のとおり。）
（契約電力とは、契約上使用できる最大電力をいい、計量器により計測される値が原則としてこれを超えないものとする。）

予定年間使用電力量　7,441,083 kWh　（詳細は、資料 2-1 のとおり。）

3．電力量の検針方法

自動検針装置	有
電力会社の検針方法	遠隔自動検針
計量器	電力需給用変成器付複合計器（時間帯別・精密級）

4．需給地点
本学構内需給場所に本学が施設した開閉器箱内の北海道電力株式会社の架空引込線と本学開閉器電源側接続点

5．電気工作物の財産分解点
Ⅱの４．に同じ。ただし、既存の取引用計量装置は北海道電力株式会社の所有である。

6．保安上の責任分解点
Ⅱの４．に同じ。

7．その他

（１）　力率保持のため、力率調整装置を有しており、使用期間中は 100%を保持する予定。

（２）　太陽光発電設備を有しているが、発電した電力については、全量自家消費する。構成は以下のとおり。
・50 KVA　１基

・2 KVA　　1基
・48 KVA　　1基
・7.3KVA　　1基
・20KVA　　1基（令和7年2月稼働予定）

上記に加え、500KVAの太陽光発電設備を1基増設する予定（令和7年9月稼働予定)。なお、2．の予定年間使用電力量は過年度実績に基づく値であり、太陽光発電設備の増設による影響は考慮していない。

（3）　非常用発電機を有している。構成は以下のとおり。
・低圧 315 KVA　1台
・低圧 200 KVA　1台
・低圧 130 KVA　1台

III.　本学の要求要件

1．資料 2-1 の予定年間使用電力量の供給能力を有し、安定した電気の供給が可能であること。
2．供給電力に占める再生可能エネルギー電気の割合を20%とすること。なお、再生可能エネルギーであることを証明する証書等は、以下のとおりとする。
○「RE100 TECHNICAL CRITERIA」の要件を満たすもの
○自社施設で発生した再生可能エネルギー電気又は相対契約によって他者から購入した再生可能エネルギー電気とセットで供給されることで電源が特定できる非化石証書（再エネ指定）
○非化石価値取引市場から調達した再生可能エネルギー電気由来の証書であって、FIT非化石証書及びトラッキング付非FIT非化石証書（再エネ指定)、グリーンエネルギー証書（電力)、再生可能エネルギー電気由来のJ-クレジット
3．供給者は、供給する電力量に占める再生可能エネルギー電気の比率について確認できる資料を、発注者に書面（様式任意）で提出すること。
4．電力を供給するにあたり、受変電設備を改修等する必要があるときは本学と協議すること。但し、改修等に係る経費は供給者側の負担とする。
5．事故及び障害等が発生した場合に迅速に対応できる体制であること。

IV.　電気料金の算定

1．各月の電気料金の算定方法は、基本料金の力率割引又は割増、電力量料金の燃料費調整は北海道管内の旧一般電気事業者が定める標準供給条件によるものとする。また、電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法に基づく賦課金については、北海道管内の一般送配電事業者が定める標準供給条件によるものとする。なお，入札価格の算定にあたっては、燃料費調整額及び電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法に基づく賦課金額は考慮しないこととする。
2．検針で明らかになった有効電力と無効電力に基づき、力率を算出し、契約電力に対する基本料金を調整しなければならない。
3．契約電力および最大需要電力の単位は1kW とし、その端数は小数点以下第1位で四捨五入する。
4．使用電力量の単位は1kWh とし、その端数は小数点以下第1位で四捨五入する。
5．料金の計算における基本料金，電力量料金は小数第3位を切り捨て、小数第2位まで表示する。合計金額は1円とし、その端数は小数点以下を切り捨てる。
6．経済情勢の激変その他予期することのできない特別の事情又は発電費用等の変動により、電気料金が不適当となり改訂する必要が生じた場合は、本学と協議の上変更できるものとする。
7．契約電力について、変更する必要があると認められる場合は、本学と供給者間に

おいて協議し変更できるものとする。

8．この仕様書に定めのない供給条件については、北海道管内の一般送配電事業者が特定規模需給に対して定める標準供給条件（基本契約要綱）等をもとに協議するものとする。

V. その他

1．本仕様書に定めのない事項については、当機構が定める物品供給契約基準および供給者が定める約款の規定によるものとする。

2．前記の定めによらないものについては，本学と供給者間で協議し決定することとする。

VI. 添付資料

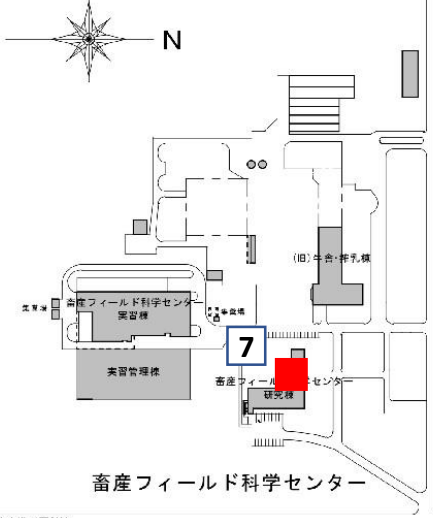
資料 1-1　帯広畜産大学　受電施設配置図
資料 1-2　防災センター電気室平面図
資料 1-3　帯広畜産大学受変電設備単線結線図
資料 2-1　令和 6 年度電力使用量実績（予定使用量）
資料 2-2　令和 5 年度電力使用量実績
資料 2-3　最大デマンド発生日の負荷曲線

帯広畜産大学　受電施設配置図

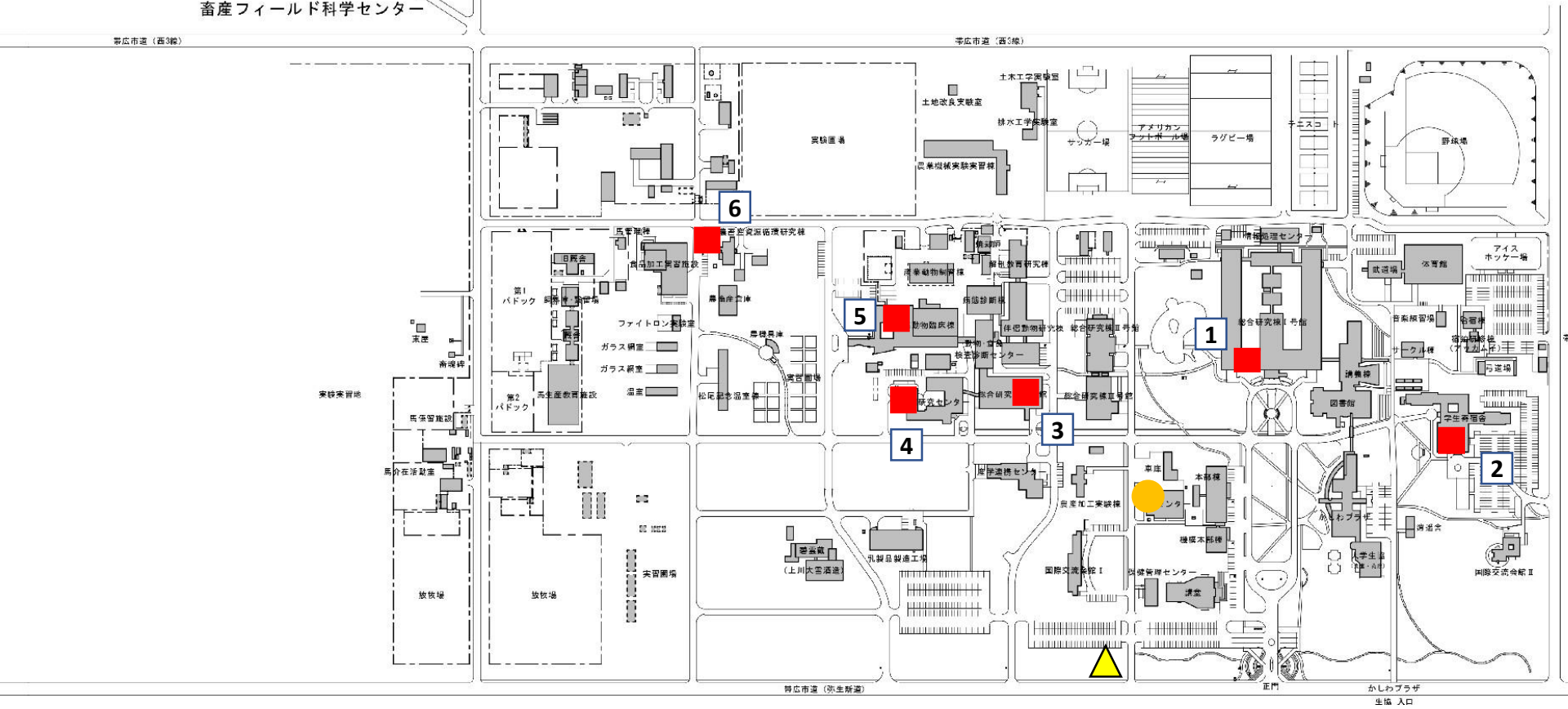
資料1-1

△ 引き込み柱位置（開閉器）

●	防災センター電気室	6KV	CVT60sq
1	総合研究棟Ⅰ号館電気室	6KV	CET38sq
2	学生寄宿舎電気室	6KV	CET22sq
3	総合研究棟Ⅳ号館電気室	6KV	CET22sq
4	原虫病研究センター電気室	6KV	CET38sq
5	産業動物臨床棟電気室	6KV	CET38sq
6	屋外キュービクル	6KV	CET38sq
7	畜産フィールド科学センター電気室	6KV	CET38sq

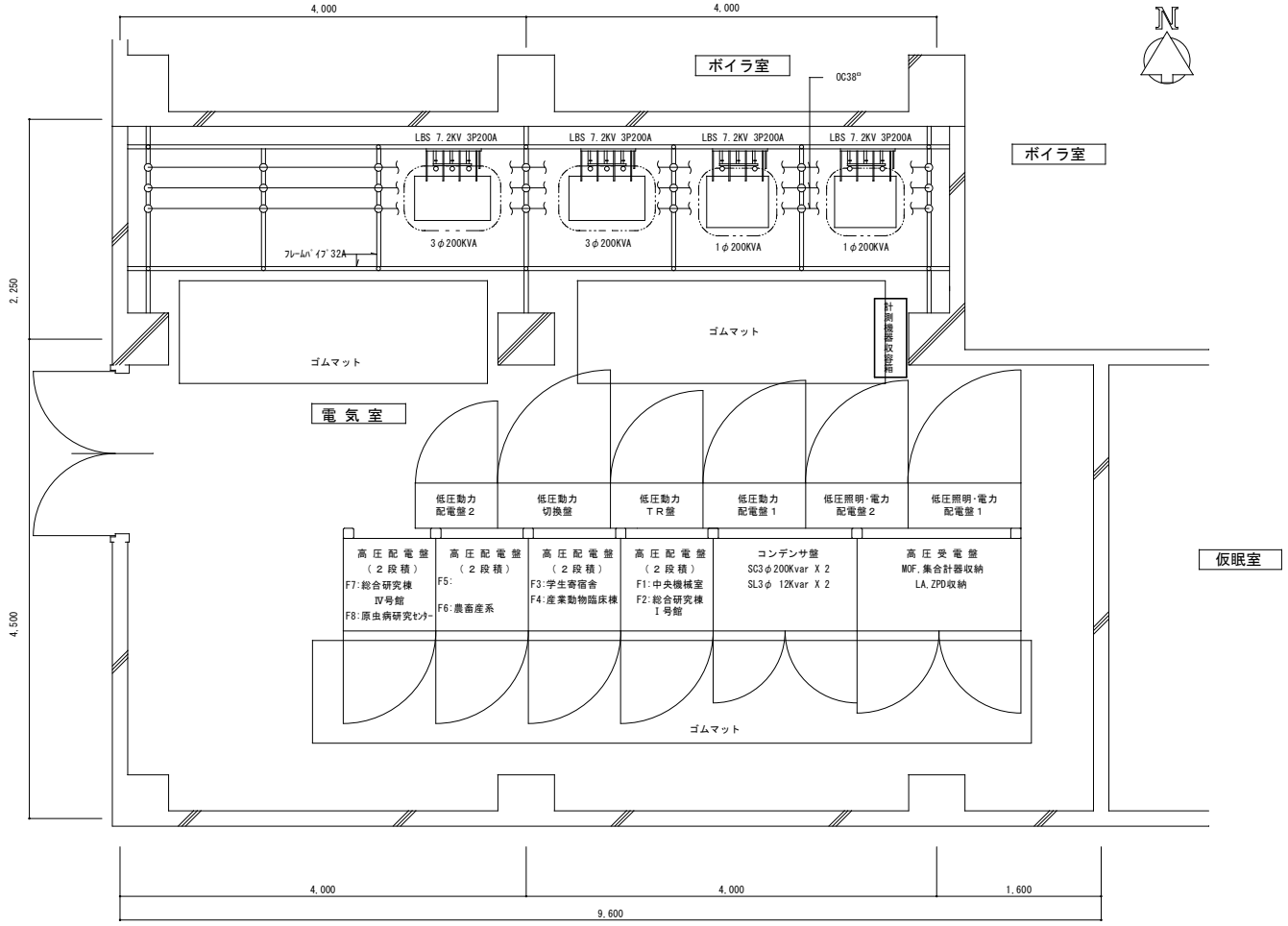


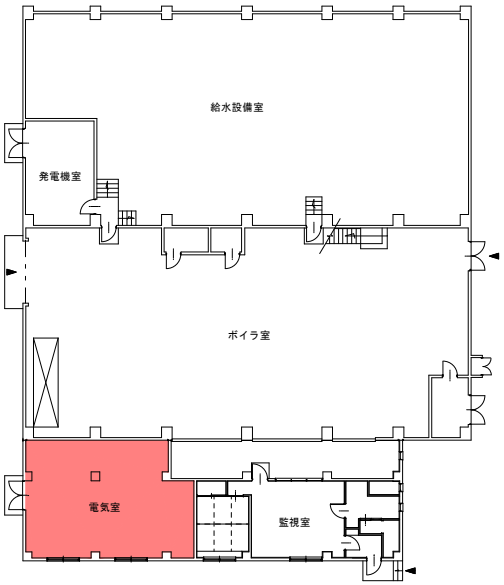
畜産フィールド科学センター



資料1-2

防災センター電気室平面図

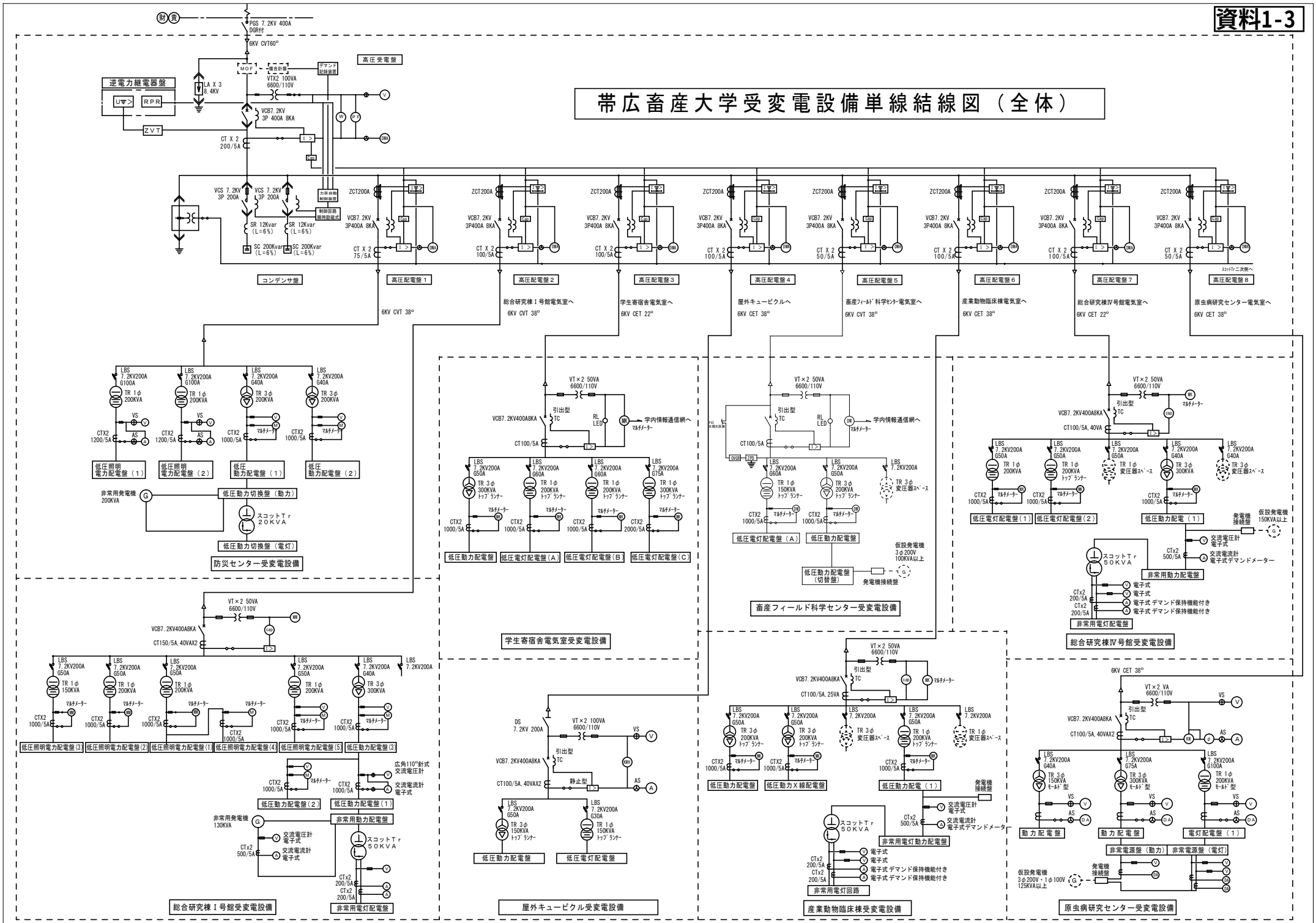




防災センター平面図

資料1-3

帯広畜産大学受変電設備単線結線図（全体）

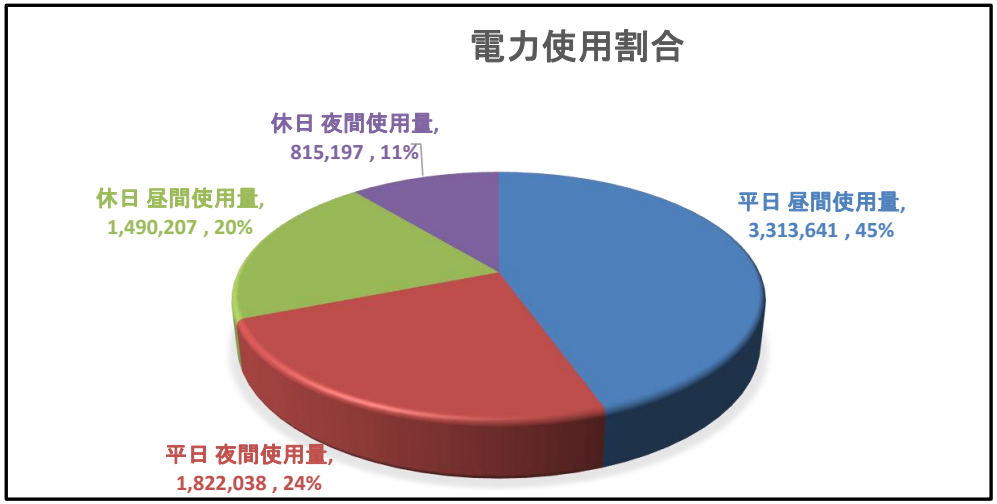


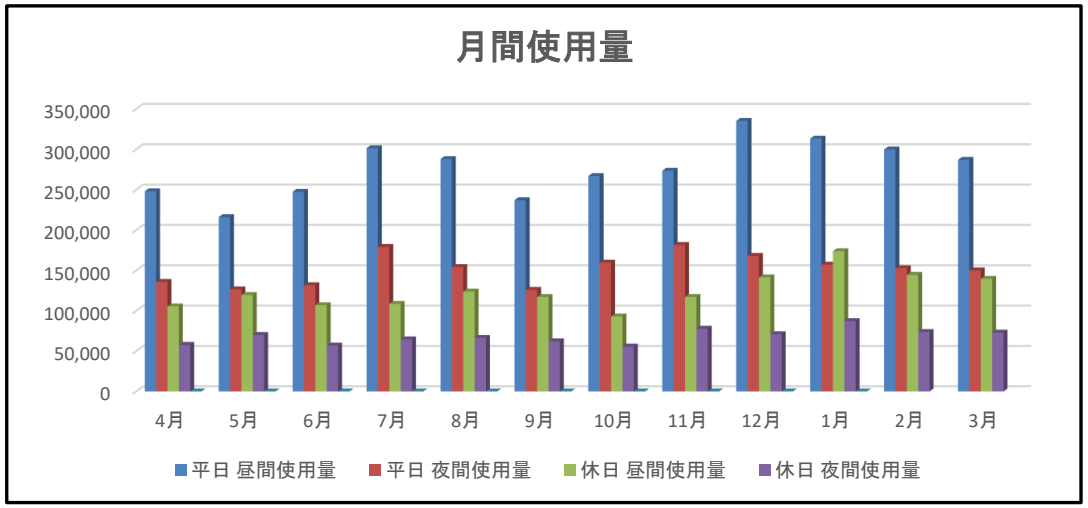
資料2-1

令和6年度　電力使用量実績(予定使用量)

供給地点	計測月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
帯広畜産大学	平日	昼間使用量	248,059	216,061	247,327	301,412	287,948	236,948	266,946	273,485	335,272	313,295	299,884	287,004	3,313,641
		夜間使用量	135,780	126,550	131,571	179,075	154,155	125,816	159,647	181,558	167,976	157,099	152,803	150,008	1,822,038
	休日	昼間使用量	105,410	119,505	106,908	108,514	123,780	117,029	92,882	117,048	141,398	173,783	144,449	139,501	1,490,207
		夜間使用量	57,699	69,996	56,872	64,471	66,266	62,140	55,549	77,705	70,843	87,141	73,602	72,913	815,197
	昼間計		353,469	335,566	354,235	409,926	411,728	353,977	359,828	390,533	476,670	487,078	444,333	426,505	4,803,848
	夜間計		193,479	196,546	188,443	243,546	220,421	187,956	215,196	259,263	238,819	244,240	226,405	222,921	2,637,235
	合計		**546,948**	**532,112**	**542,678**	**653,472**	**632,149**	**541,933**	**575,024**	**649,796**	**715,489**	**731,318**	**670,738**	**649,426**	7,441,083

※１２月以降は前年実績記載(赤字)

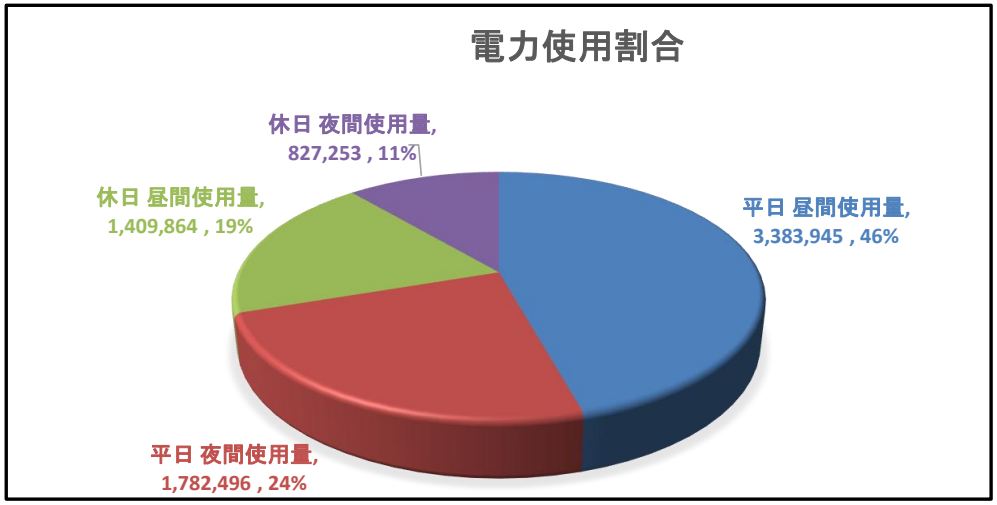


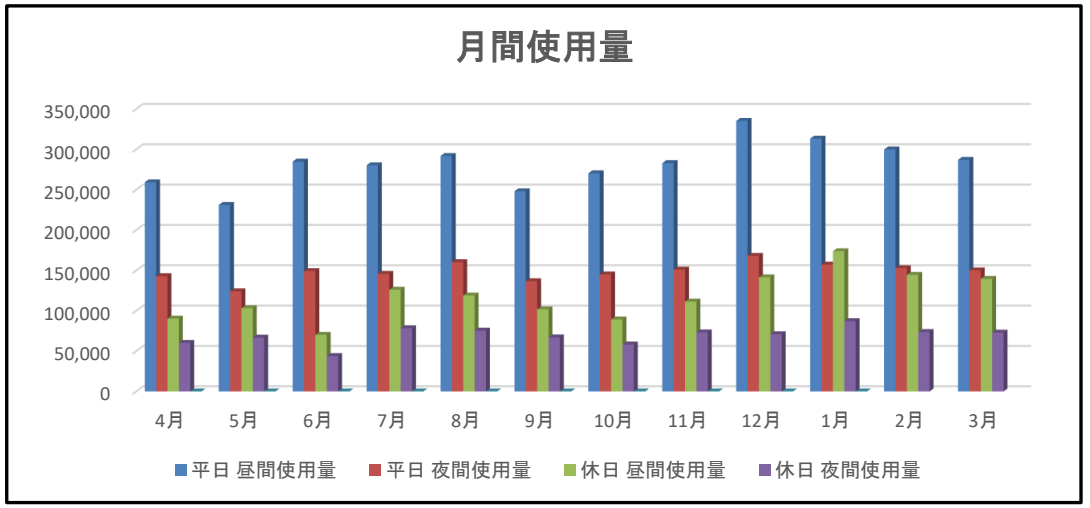


資料2-2

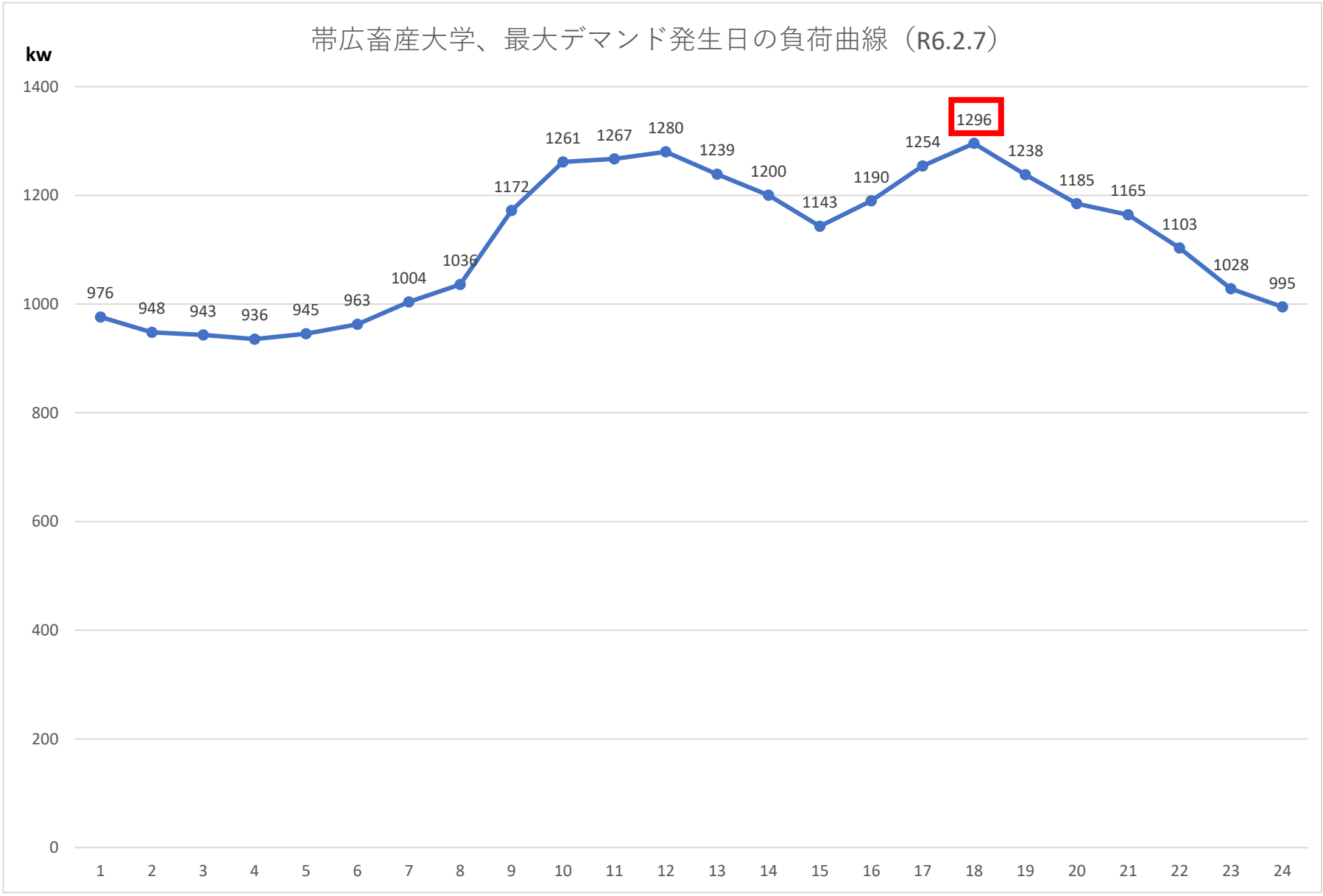
令和5年度　電力使用量実績

供給地点	計測月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
帯広畜産大学	平日	昼間使用量	259,182	231,083	284,834	280,263	291,813	247,997	270,347	282,971	335,272	313,295	299,884	287,004	3,383,945
		夜間使用量	142,815	124,070	149,181	145,731	160,278	136,580	144,970	150,985	167,976	157,099	152,803	150,008	1,782,496
	休日	昼間使用量	90,246	103,162	70,090	126,083	118,856	101,743	89,179	111,374	141,398	173,783	144,449	139,501	1,409,864
		夜間使用量	60,166	66,687	43,880	78,369	75,365	66,964	58,177	73,146	70,843	87,141	73,602	72,913	827,253
	昼間計		349,428	334,245	354,924	406,346	410,669	349,740	359,526	394,345	476,670	487,078	444,333	426,505	4,793,809
	夜間計		202,981	190,757	193,061	224,100	235,643	203,544	203,147	224,131	238,819	244,240	226,405	222,921	2,609,749
	合計		**552,409**	**525,002**	**547,985**	**630,446**	**646,312**	**553,284**	**562,673**	**618,476**	**715,489**	**731,318**	**670,738**	**649,426**	7,403,558





資料2-3


帯広畜産大学、最大デマンド発生日の負荷曲線（R6.2.7）
kw
1400
1200
1000
800
600
400
200
0
976
948
943
936
945
963
1004
1036
1172
1261
1267
1280
1239
1200
1143
1190
1254
1296
1238
1185
1165
1103
1028
995
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24